

岡崎市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練

日 時 令和7年11月11日(火)13:00～
場 所 岡崎市八帖クリーンセンター
参 加 者 37名(うち岡崎市20名)

岡崎市と西三河支部(石山勝範支部長)は大規模災害等の発生を想定し、岡崎市八帖クリーンセンターにおいて、共同で訓練を実施しました。平時から岡崎市災害廃棄物処理一次仮置場運営マニュアルに基づく災害廃棄物仮置場運営の準備や災害廃棄物対応への意識高揚を図るとともに、職員の現場対応力を養い、仮置場の設置状況や災害廃棄物の受け入れ体制等について、確認・検証することを目的としています。

まずはじめに、岡崎市環境部長 加藤元氏より「本日の訓練では、マニュアルが実際の現場でどのように機能するか、またどの部分に課題があるのかを確認し、より実践的で使いやすいものへと改善していきたいと考えています。今回の経験は、今後の災害廃棄物処理体制を一層強化するうえで、貴重な第一歩になると確信しています。」とのごあいさつがありました。そして、石山支部長からは「近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発しており、災害時における迅速な初動対応の重要性が改めて認識されています。中でも、災害廃棄物の適正な処理は、生活再建を進める上で欠かすことのできない重要な要素です。本日の訓練を通じて、市の皆さまとの顔の見える関係をさらに深め、有事の際には円滑に連携・協力できるよう、引き続き真摯に取り組んでまいります。」とあいさつし、訓練がスタートしました。

岡崎市加藤環境部長、廃棄物対策課7名、清掃施設課5名、こみ対策課7名、愛産協西三河支部会員等17名の合計



岡崎市環境部長
加藤元氏



石山勝範支部長



受け付け時の様子



37名で、①仮置場設置(資機材設置等)、②災害廃棄物の受け入れ・案内、③災害廃棄物の搬入・荷降ろし、④災害廃棄物の搬出をそれぞれ担当し実施訓練を行いました。受け入れ案内から搬入・荷降ろしの段階では、各担当者が搬入物を正確に把握し、車両を円滑に誘導できるよう、トランシーバーを活用するなどの工夫が見られました。また、災害発生時に市民が搬入に訪れた際に生じる可能性のある課題や問い合わせへの対応を確認するため、搬入する市民に扮した担当者が、例えば災害廃棄物以外のものを持ち込んでくるなどさまざまなシチュエーションを演じて、災害直後の状況を再現した環境で訓練が行われました。

- ① 仮置場設置(資機材設置等)
- ② 災害廃棄物の受け入れ・案内
- ③ 災害廃棄物の搬入・荷降ろし
- ④ 災害廃棄物の搬出

訓練終了後、小野俊之専務理事から「行政や産業廃棄物処理業など、それぞれ異なる立場の皆さまが集まり、ひとつの目的に向かって取り組むことは非常に意義深いと感じております。マニュアルに沿って進める中で生じた反省点も、ぜひ今後の改善に生かしていただければと思います。また今回初めて岡崎市さんと合同で訓練を実施したことで、普段なかなか顔を合わせない方同士がつながりを持てたことも大きな成果でした。万が一の災害時には、今日の訓練が必ず役立つものと考えています。本日の振り返りを次回に生かしていただきつつ、このような機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。」と閉会のあいさつがあり、訓練は終了しました。



集合写真